# 第33回 やまがた農村フォトコンテスト

ふるさとを探そう

あなたが伝えたい山形の水・土・里

MIDORI-NET YAMAGATA 一般の部 NOSON PHOTO CONTEST

［募集テーマ］
やまがたの農村をテーマに、あなたが伝えたい山形の農村の四季、風景、働く喜びなど、幅広く農村生活をとらえたもの（田園の風景、農作業の風景、伝統文化（祭り）、疏水、地域保全活動等）

**最優秀賞**　「収穫の喜び」島貫　一郎（飯豊町）
■撮影場所／飯豊町

**優秀賞**

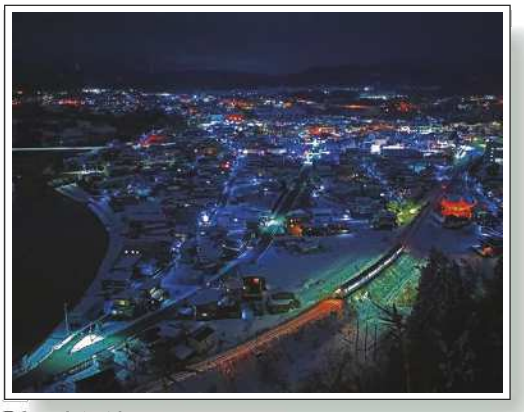
「ひと休み」結城　謙司（中山町）
■撮影場所／中山町

**水土里ネットやまがた会長賞**

「総動員」池田　仁（遊佐町）
■撮影場所／遊佐町

「田植えの頃」佐々木　吉治（酒田市）
■撮影場所／遊佐町

**山形新聞社賞**



「夜の左沢線」齋藤　勝美（山形市）
■撮影場所／大江町

## 特　選

「夕日に染まって」渡辺　喜則（山形市）
■撮影場所／山形市

「沿線爛漫」齋藤　徹（飯豊町）
■撮影場所／南陽市

「縁側での一時」吉田　功（山辺町）
■撮影場所／山辺町

## 入　選

「群れるカモメ」鈴木　貞治（天童市）
■撮影場所／酒田市

「岩円地蔵に雨乞い祈る」
樋渡　博（新庄市）
■撮影場所／金山町

「菜の花畑」山川　祐幸（山形市）
■撮影場所／上山市

「仕上げは先輩」
田所　勝美（山形市）
■撮影場所／寒河江市

「初夏の風物詩」佐藤　靖（山形市）
■撮影場所／村山市

「お焚き上げ」山川　由美子（山形市）
■撮影場所／高畠町

「雲海の朝」本田　浩行（東根市）
■撮影場所／長井市

「春を待つ」鈴木　亮（長井市）
■撮影場所／長井市

「泥んこラグビー」小関　清香（山形市）
■撮影場所／寒河江市

「かかしの一服」郷野　幹雄（東根市）
■撮影場所／真室川町

## 学生の部

### 最優秀賞

「おら田(だ)の自慢!」
鈴木　こはく(東根市立大富中学校1年生)
■撮影場所／長井市

### 優秀賞

「向日葵に向かって」
佐々木　彪琉
(山形県立酒田光陵高等学校2年生)
■撮影場所／羽黒町

「手間をかける杭がけ」
石﨑　叶芽
(庄内町立立川小学校6年生)
■撮影場所／庄内町

### 特選

「小さなもり」
松田　結希乃
(山形県立山形北高等学校1年生)
■撮影場所／山形市

「きれいな春がいっぱい」
石﨑　大賀(庄内町立立川小学校3年生)
■撮影場所／庄内町

「夕暮れとんぼ」
山科　夢愛
(山形県立山形北高等学校1年生)
■撮影場所／東根市

### 入選

「高校生活最後の夏、稲穂に託した未来」
沓澤　魁良
(山形県立村山産業高等学校3年生)
■撮影場所／東根市

「豊作を願って」
鈴木　陽大
(東根市立大富中学校2年生)
■撮影場所／大石田町

「じぃじの桃だいすき」
加藤　小晴(酒田市立泉小学校1年生)
■撮影場所／村山市

## WEB作品の部

### 最優秀賞

「ひぃばあのリンゴみぃつけた」
馬場　春花(福島県伊達市)
■撮影場所／東根市

「冒険」松浦　真(山形市)
■撮影場所／天童市

「夜を彩る大石田花火大会」
矢萩　仁菜(天童市)
■撮影場所／大石田町

## 審査講評

山形県写真連盟　会長
**阿部　直美**

平成5年に開始されてから今回で33回目を迎えた「やまがた農村フォトコンテスト」ですが、これまでに多くの写真愛好家から農村の四季や風景、人々の働く姿など農村の生活をテーマにそれぞれの視点で捉えた写真を応募していただき、農村の良さや農業の大切さを表現していただきました。

今回は、一般の部に57人から150点、学生の部には小・中・高校生73人から75点、WEB作品の部に38人から58点の応募がありました。とりわけWEB作品の部には昨年に比べて倍以上の作品数の応募がありました。総数で168人、283点という応募があり、本コンテストが広く県民から認知されていると実感したところです。

応募作品は、農村や農作業の風景等を捉えた素晴らしい写真がほとんどで、審査には大変苦労しました。入賞された皆さんには心からお祝い申し上げます。

私たちの周りには、農業に関わる文化や民俗行事、ふるさとの原風景が数多く残されています。それらを後世に伝えるためにも、皆さんの豊かな感性で被写体に接し、感動する写真を撮り続けていただくことを期待します。

### 【一般の部】

#### 最優秀賞

「収穫の喜び」
島貫　一郎（飯豊町）　■撮影場所／飯豊町

自然乾燥の稲を前に笑顔で立つ高齢の男性を捉えた作品です。「今年も豊作だ!」と自慢しているように見える男性の満足げな姿が伝わってくる作品です。さらに、手間暇かけて育てたお米を消費者に自信を持って届けられるという充実した笑顔が表現された作品です。作為的でない自然な笑顔を写せるのは、撮影者と被写体との間でコミュニケーションが取れている証しであり、被写体からの信頼感が感じられる素晴らしい作品です。

#### 優秀賞

「ひと休み」
結城　謙司（中山町）　■撮影場所／中山町

実りの秋を迎えた稲田でバッタなどの餌を求めるシラサギ、そのクチバシに止まったトンボ、ユニークな“平和”な一瞬を捉えた作品です。この瞬間をファインダーに捉えた観察眼に脱帽します。この後、トンボは飛んで行ったと思いますが、写真は一瞬を捉えることのできるツールです。この瞬間を逃がさずに撮影したシャッターチャンスに優れた作品です。

#### 水土里ネットやまがた会長賞

「総動員」
池田　仁（遊佐町）　■撮影場所／遊佐町

田植え光景を捉えた作品ですが、家族総出で田植え機の動きを見つめています。とりわけ小さな子供が興味深そうに見つめている瞬間を画面の中心に据え、見る側の視線を誘導しています。タイトル通り、家族がこの田んぼでお米が実る秋を想像しながら豊作を祈っているのでしょう。この 1 枚に家族みんなの思いが込められた作品に仕上がっています。

#### 優秀賞

「田植えの頃」
佐々木　吉治（酒田市）　■撮影場所／遊佐町

青空の広がる下、残雪を抱く鳥海山を背景に田植えを終えた田んぼで補植を行う女性を捉えた作品ですが、五月晴れの爽やかな季節感を感じさせる作品です。田んぼの水面に映る威風堂々とした鳥海山の姿もしっかりととらえています。シャッターチャンスをじっくりと考えたうえで撮影された画面構成にも非常に優れた作品です。

#### 山形新聞社賞

「夜の左沢線」
齋藤　勝美（山形市）　■撮影場所／大江町

大江町の楯山公園から冬の夕暮れ時の左沢市街地を捉えた作品です。色温度の関係もあり、全体がブルーを基調とした色彩になっています。その中を車内の灯りを外に映しながら走る列車と町の家々の光りが温かさを表現し、人々の生活が感じられる美しい作品です。列車の光跡と街の人々の暮らしを表す光を上手に映しこんだ技術的に優れた作品です。

### 【学生の部】

#### 最優秀賞

「おら田(だ)の自慢!」
鈴木　こはく（東根市立大富中学校1年生）　■撮影場所／長井市

青空の下、田んぼの前で腕組をした男性2人を捉えた作品です。2人の表情やポーズからは俺たちがこの田んぼと稲を守るんだという意気込みすら感じられます。田んぼを広く写し、人物をその中心に置いた構図からも撮影者の意図が伝わってきます。さらに“おら田（だ）の自慢!”という題名もセンスにあふれ、相俟って力強い作品に仕上がっています。

入賞作品の展示は10月31日に山形テルサで行う土地改良大会にて行います。

■主催：水土里ネットやまがた（山形県土地改良事業団体連合会）
■協賛：(株)メコム／富士フイルムビジネスイノベーションジャパン(株)山形営業所／山交観光(株)
(有)たかしま保険サービス／(株)ユアシス／(株)山形測器社
■後援：山形県／山形県多面的機能支払推進協議会／山形県写真連盟／山形新聞・山形放送

SANAE PHOTO GALLERY 写真館'25
入賞作品を紹介しています
www.sanae.or.jp

お問い合わせ
水土里ネットやまがた（山形県土地改良事業団体連合会）
第33回 やまがた農村フォトコンテスト事務局　〒990-2473　山形市松栄1-7-48　TEL 023-647-5371　FAX 023-647-5391